

公開講演：大分大学経済学部

日時：令和4年5月30日（月3限）

場所：101号室

講演テーマ：「文化資本としての**外国語と方言**」

講演者：井上史雄

講演要旨

言語は経済価値を持って市場で売買されている。外国語教育がその典型であり、世界の諸言語は、市場価値によって、格付けされている。英語が文化資本として高値だが、少数言語・絶滅危機言語は安値で買い手がいない。日本の方言も危機方言になりつつあるが、情的価値を持ち、楽しもうという動きも見られる。



著書：

『経済言語学論考』-言語・方言・敬語の値打ち

『ことばの格差』(Kindle)

『日本語は生き残れるか』(PHP新書)

『新・敬語論』(NHK出版新書)

『日本語ウォッチング』(岩波新書)

『社会方言学論考』等。



履歴：

東京外国語大学・明海大学 名誉教授。
専門は、社会言語学・方言学。

1971年東京大学大学院言語学博士課程修了。東京外国語大学助教授・教授、明海大学教授を歴任。博士(文学)。

1987年第13回金田一京助博士記念賞を受賞。

お問い合わせ先：blianqun@oita-u.ac.jp